

「学生によるミタカ・ミライ研究アワード 2020」申込書

「学生によるミタカ・ミライ研究アワード 2020」において、下記のとおり自らの調査研究を発表したいため、募集要項に基づき応募します。

研究テーマ	『TOKAMORI MITAKA』 ～新しい空間、新しいライフスタイルを創造する
-------	---

◆応募者（応募代表者）

(フリガナ) モンマ エイスケ	大学名、学部名、ゼミ名(あれば)
氏名 門間 栄介	亜細亜大学 都市創造学部

◆共同提案者

氏名(フリガナ)	大学名、学部名、ゼミ名(あれば)
杉本 拓斗(サキ ト ト)	亜細亜大学 都市創造学部
粕川 さくら(カサガ サクラ)	亜細亜大学 都市創造学部

◆研究の動機、テーマに関する考え、研究計画・手法などを、600字以内で記載

はじめに、亜細亜大学都市創造学部は、2年生の後期に一大プロジェクトである半年間の必修留学があります。私はインドネシアに行く予定でした。しかし新型コロナウィルスの影響で留学は中止になり、期待を膨らませていた多くの学生が肩を落とし、私も学習へのモチベーションが下がりつつありました。そんな中、出会ったのがこの「学生によるミタカ・ミライ研究アワード」です。私たち都市創造学部の学生にとって、このプロジェクトは、本気でまちづくりを考え、より実践的なアイデアを生み出し表現する絶好の機会であると感じたため、応募しました。

研究テーマは、「新しい空間、新しいライフスタイルを創造する」です。テーマの中に2回「新しい」という言葉が入ります。かつてない新しいものは、なんだかワクワクします。そのワクワクは人を惹きつけます。一般的に人が集まると、まちが活性化します。「新しい」からなる、この循環がまさに今の世の中に必要であると考えました。

コロナ禍で社会は大きく変わりました。一つ例を挙げると、会社ではリモートワークが普及し、学生はオンライン授業になりました。カフェに行くと決まって席にはリモートワーカーや学生で溢れています。人々にとってリモートワークやオンライン授業ができる空間にはニーズがあります。この世の中に適応した新たな空間、新たなライフスタイルを創造し、未来がさらに輝くアイデアを生み出します。